

13G/13L

スモールカーのベンチマークであり続けるために「もっと」の声に応え、細部まで多くの改良を施しました。

デザインの変更 P09

■デザインの洗練と徹底的な低燃費化のために、エクステリアの各所を改良しました。

燃費の向上 P10

■燃費を可能な限りよくするために、ピストンからエンジンを見直し、CVTも効率向上を徹底。燃費性能を24.5km/ℓ^{*1*2}に向上しました。
■より経済的に走っていただくために、省エネ運転を支援するECONモードを採用しました。

使い勝手の向上 P11

■各部の操作性や視認性を検証し、より使いやすくなり改良しました。
■もっと便利に快適に使っていただけるよう、機能性に優れた装備を採用しました。

運転操作性の向上 P12

■ステアリングやパーキングブレーキの操作性を向上しました。

先進装備の充実 P12

■Hondaスマートパーキングアシストシステム、バックモニター付オーディオを設定しました。

HYBRID

FITならではのパッケージングを活かした広く、使いやすく、環境性能に優れたFIT HYBRID誕生です。

パッケージング P13

■センタータンクレイアウトと軽量・コンパクトなIMAで、FITの誇る居住性、積載性、シートアレンジをそのまま活かしました。

HYBRID専用デザイン P14・17

■エクステリア、インテリアともに、先進&クリーンなイメージを持たせました。

Hondaハイブリッドシステム P15

■「1.3ℓ i-VTECエンジン+IMA」を採用し、30.0km/ℓ^{*1}の燃費性能と軽快で力のある走りを両立しました。

HYBRID専用シャーシ/ボディ P15

■走行抵抗を徹底して減らし、燃費性能をハイブリッド専用設計のインサイト同等まで引き上げました。
■優れた操縦安定性と乗り心地を実現しながら低燃費に貢献するために、足回りとボディを専用設計しました。

FIT専用IMAセッティング P16

■街乗りに適した、FITにベストマッチなIMAセッティングとしました。

優れた静粛性 P16

■ハイブリッドの特性を活かしながら、静粛性を追求しました。

エコアシスト P17

■低燃費運転を楽しく支援する機能、エコアシストを装備しました。

HYBRID専用ナビシステム P18

■HYBRID専用で、Honda HDDインターナビシステム+リンクアップフリー+インターナビ・ルートを設定しました。

15X

スモールであっても上質感が欲しいという声に応えます。

15X専用デザイン P19

■エクステリア、インテリアともに、上質で落ち着いた質感を持たせました。

15X専用装備 P20

■上級クラスからの乗り換えでも満足していただけるよう快適装備を充実させました。

走りと静粛性 P20

■静粛性と燃費に有利になるようにCVTの変速特性を変更しました。
■中型セダンクラスの静粛性を目指し、防音処理を強化しました。

RS

ドライビングを存分に楽しみたい人のために、走りとデザインをいっそうダイナミックに磨き上げました。

RS専用スポーティーデザイン P21

■走りのよさがひと目でわかるダイナミックなエクステリア、スポーティーなインテリアに仕上げました。

ダイナミックな走り P22

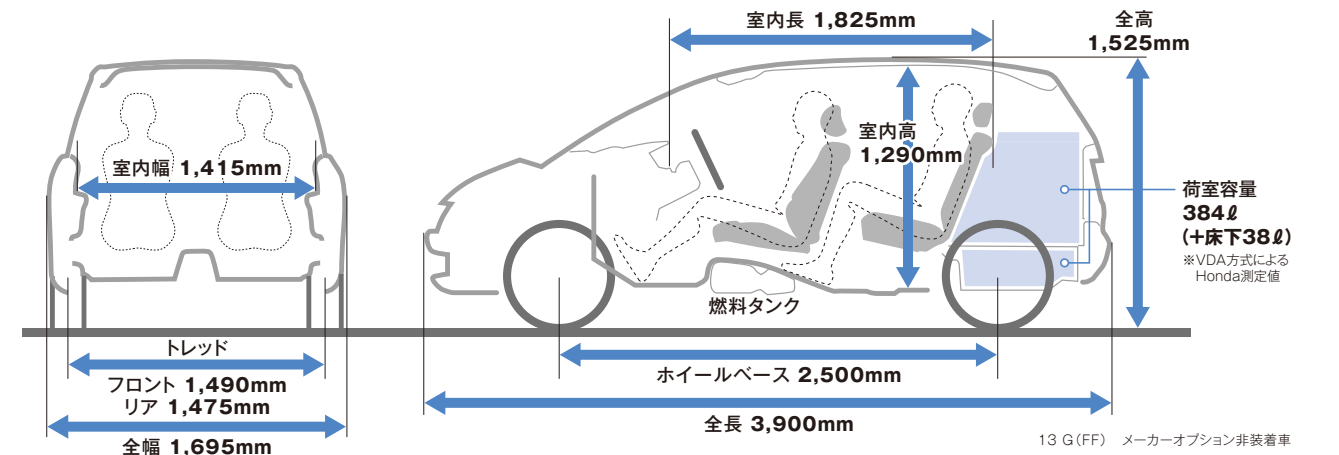
■クラス^{*3}唯一の6速MTを新採用しました。
■より力強い加速感を得るために、DBW設定を見直しました。
■高いコーナリング性能を得るために、サスペンションを強化しました。
■スポーティーなハンドリングにこだわり、EPS制御を専用セッティングしました。
■スポーティーサウンドを追求し、加速時のエンジン音と排気音をチューニングしました。

スモールカーの概念を変えたパッケージング・テクノロジー。

高効率なパッケージングがもたらすFIT定評の広い室内と低床・大容量ラゲッジスペース。

センタータンクレイアウトを核に、エンジンやサスペンションなどのメカニズムをコンパクトに設計・配置した、Honda独自の高効率なパッケージング技術。これによりFITは、取り回しのよいコン

パクトなボディの中に、スモールカーとは思えないほどの広々とした室内と低床で大容量のラゲッジスペースを実現しました。



13G (FF) メーカーオプション非装着車

多彩なシートアレンジ、ULTR SEAT (ウルトラシート) が生み出す優れた使い勝手。

フロントシート下に燃料タンクを配置するセンタータンクレイアウト。それによって生み出されたリアシート下のスペースを活用した多彩なシートアレンジが、空間の使い勝手を大きく広げます。リアシートはワンアクションで背もたれがたたみこまれながら足元スペースに収納。ラゲッジスペースが低くフラットに広がります。また、リアシートの座面を跳ね上げると高さ1,280mm*の空間が出現します。*スカイルーフ装着車は1,255mm Honda測定値



ULTR SEAT Utility mode



ユーティリティ・モード
リアシートをタイプダウンさせると、低く広いフルフラット空間。

ULTR SEAT Long mode



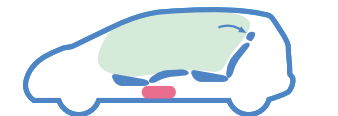
ロング・モード
ユーティリティ・モードに加え、助手席をフルリクライニングさせると長尺物に対応。

ULTR SEAT Tall mode



トール・モード
リアシートをチップアップさせると、高さのある荷物に対応。

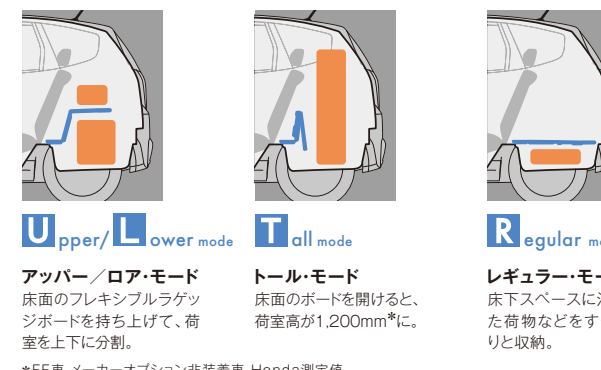
ULTR SEAT Refresh mode



リフレッシュ・モード
フロントシートのヘッドレストを外してフルリクライニングさせると、足を伸ばせる空間に。

荷室もアレンジ多彩。

ULTR LUGGAGE (ウルトララゲッジ)。(タイプ別設定)



*FF車 メーカーオプション非装着車 Honda測定値

スモールカーならではの運転のしやすさ。

広い空間を生み出すロングホイールベース&ワイドトレッドながら、最小回転半径は4.7m*を実現。低速時には軽い操作感のEPS(電動パワーステアリング)と合わせ、優れた取り回し性を獲得しています。



*14インチホイール装着車

*1 10・15モード走行燃料消費率(国土交通省審査値) *2 13G(FF(CVT)) 装着するメーカーオプションによっては異なる場合があります。 *3 1.5ℓクラス ハイブリッド車を除く(2010年10月現在 Honda調べ) 装備はタイプにより設定が異なります。詳しくは装備表をご確認ください。